

7. 基本・実施設計に向けて

新庁舎建設の基本理念である「日本の宝島“天草”の創造」を構築する拠点となる庁舎を目指し、今後、より具体的な検討をする基本・実施設計に向けて、特に次のことに留意して検討を進める必要がある。

(1) 市民サービスの充実について

来庁される方の安全性、利便性、ユニバーサルデザインに配慮した明るく入りやすい窓口空間の整備。

総合案内の設置や各種手続きを1箇所の窓口で完結させる「ワンストップサービス」の検討。

(2) 防災対策について

建物の地震に対する安全性を高めるための耐震性能を備えた構造の導入。

建物の床高の配慮、水の進入防止策、さらに重要設備を高い階層に配置するなど、浸水（津波等）対策の検討。

埋立地である建設計画地の液状化対策の検討。

防災拠点とするためのライフラインや電源等の確保。

(3) 環境への配慮について

太陽光発電や風力発電システム等の導入による自然エネルギーの活用による環境負荷の低減。

LED照明、節水型便器をなど、省エネ機器や長寿命機器を導入した環境への配慮。

(4) 事業費を抑えた施設整備方策について

基本設計・実施設計の段階で、費用対効果を十分検討したうえでの施設・機能の導入。

建設工事費等のイニシャルコスト（初期投資費用）だけでなく、庁舎のランニングコスト（管理費用）を検証したうえでの施設・機能の導入。